

発議案第9号

東葉高速鉄道の運賃引下げの早期実現に向け、低金利資金への借換えを認めるよう求める意見書について

上記の発議案を別紙のとおり地方自治法第99条及び会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和2年3月10日

八千代市議会議長 木下映実様

提出者	八千代市議会議員	飯川英樹
賛成者	八千代市議会議員	植田進
	同	堀口明子
	同	三田登
	同	伊原忠

提案理由

国に対し、東葉高速鉄道の運賃引下げの早期実現に向け、低金利資金への借換えを認めるよう強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

東葉高速鉄道の運賃引下げの早期実現に向け、低金利資金への借換えを認めるよう求める意見書

千葉県船橋市の西船橋駅から八千代市の東葉勝田台駅を結ぶ東葉高速鉄道は、千葉県、船橋市、八千代市の3者で大半の株式を保有するいわゆる「第3セクター」として運行している鉄道である。

しかし、利子付きの借金で建設したが建設期間が大幅に伸びたことや、国が低金利資金への借換えを認めなかったことなどから、開業当初には3,300億円を超える借金を背負うこととなった。

その結果、運賃は極めて高く東葉勝田台駅から西船橋駅までの運賃は現在、東葉高速鉄道は640円、ほぼ平行して走る京成本線は330円で、ほぼ倍となっている。

東葉高速鉄道の経営安定化に向けて、1997年度からの第1次支援、2007年度からの第2次支援と、合わせて20年間にわたり千葉県、船橋市、八千代市から年約6億円ずつの支援が行われてきた。

東葉高速鉄道の後に建設されたつくばエクスプレスは、建設事業費の大半が無利子で建設され、東葉高速鉄道との対応の違いにがく然とする思いである。さらに、昨年10月からの消費税増税に伴い運賃も値上げされ、特に通学に東葉高速鉄道を利用する家庭には深刻なダメージとなっている。

本年1月21日に開催された東葉高速自立支援委員会では、昨年引き続き利益を繰上償還に充てることを決めてしまい、利用者から「運賃値下げはいつになるのか」との声も上がっている。

よって、本市議会は国に対し、東葉高速鉄道の運賃引下げの早期実現に向け、低金利資金への借換えを認めるよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月19日

八千代市議会

提出先

内閣総理大臣様

国土交通大臣様